

## 例4： 「生徒の夢についての口頭試問」

会話活動

上級

中等プログラム 5年

基準	A	B	C	D	E
得たレベル	8	8	-	-	-

### 背景

- この会話活動は生徒が同じテーマで作文を書いた一週間後に行われたものである。教師は各生徒の話の内容に基づいて、様々な質問を行い、生徒はそれに即答している。従って聴解能力評価も同時に行われていることになる。
- 話の長さは3分間から5分間でこれは会話活動の時間の必要条件を満たしている。その場での準備の時間は特に与えられていないが、生徒は各自自分の題目は知っている。
- 評価される生徒及び教師のみが教室に残り他の生徒は教室外に退出している。これは雑音と外部からの干渉を最小限に留めるためである。
- この課題は基準 A 及び基準 B内で評価してある。

### 注意

この上級レベルの生徒を同じ課題で発表している標準レベルの生徒と比較し、(評価者側からの)期待度の差に注意してほしい。

### 評価

#### 基準A 内容と情報交換

最高レベル8

この作品がレベル8を得た理由は以下の通りである。

- 基本的及び、複雑な情報交換をゆとりを持って行なっている。
- テーマに沿いつつ、例や解説を添えて自分の見解や意見を述べている。
- 会話に積極的に参加し、自分の意見や考えを述べている。
- 筋道を立てて自分の考えを述べているため、内容と情報交換の流れが滑らかである。

#### 基準B 表現と言語使用

最高レベル8

この作品がレベル8を得た理由は以下の通りである。

- 会話(言語の使用)が流暢である。
- 基本的及び複雑な文法が共に正確である。
- 言葉遣いが適確である。